

8. 外部警報出力とアナログ出力を使用する

8.1 外部警報出力



① 本体の右上にある外部警報出力端子を確認してください。

上から

A 端子:a(Normal Open)接点用端子

C 端子:c(COM)用端子

B 端子:b(Normal Close)接点用端子
です。

a(Normal Open)接点の場合は、端子:C-A に接続してください。

b(Normal Close)接点の場合は、端子:C-B に接続してください。

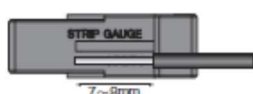
* 適合配線:AWG28~20(出来る限り太い配線を推奨します)。

* 本コネクタは、単線・より線とも使用可能ですが、作業性・接触抵抗の
有利さからより線の使用をお奨めします。

* ノイズ環境で使用する場合は、信号用電線にフェライトコアを付けて下さい。

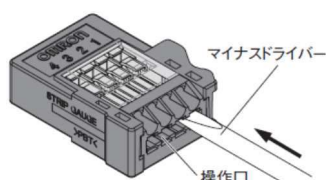
② 結線手順

●電線の準備

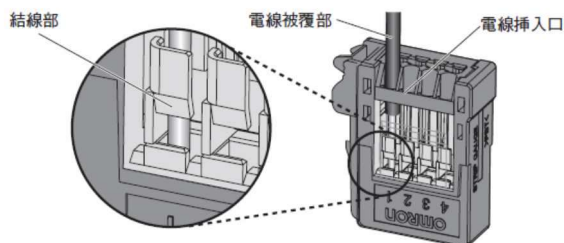


本体側面に表示されている「STRIP GAUGE」に合わせ、電線の被膜を 7~8mm剥き、撚り線は数回撚ってください。

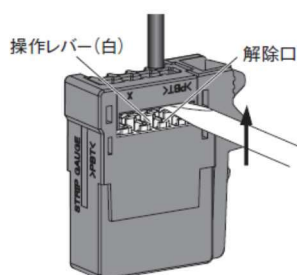
●接続手順



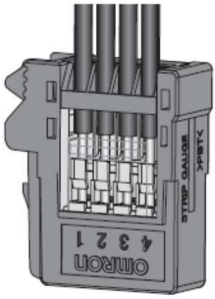
1. マイナスドライバーを使って、操作口内にある操作レバーをロックするまで押し込みます。



2. 電線挿入口に電線を奥まで挿入します。電線の被膜部が電線挿入口に入っている事、また導線部先端が結線部を通過している事を確認してください。

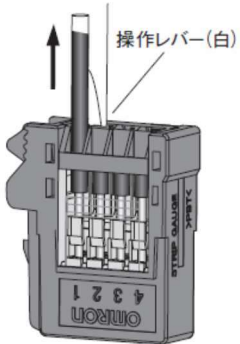


3. 解除口にマイナスドライバーを入れ、レバーを軽く引き戻します。「パチッ」という音がして操作レバーが復帰します。



4. 最後に以下の事について確認してください。
- ・操作レバーが復帰している事
 - ・再度2. 項を確認してください。
- (電線を軽く引っ張り、抵抗があれば結線されています。)

● 接続解除手順



1. 操作レバーを押し込み、操作レバーがロックされている事を確認してから電線を引き抜いてください。
2. 接続解除完了後は、かならず操作レバーを復帰させてください。ただし、引き続き結線作業を行う際には操作レバーを復帰させずそのまま、結線作業などをおこなってください。

- ③ 作成したケーブルで本製品と外部接続機器を接続した後、本書「5.8 警報テスト」等で外部接続機器が正しく動作する事を確認してください。

8.2 アナログ出力



S端子
未接続
R端子

① 本体の右側面にあるアナログ出力端子を確認してください。本製品の4-20mAアナログ出力は2線式です。

上から

S端子:4-20mA信号送り(Send)端子

未接続:使用しません

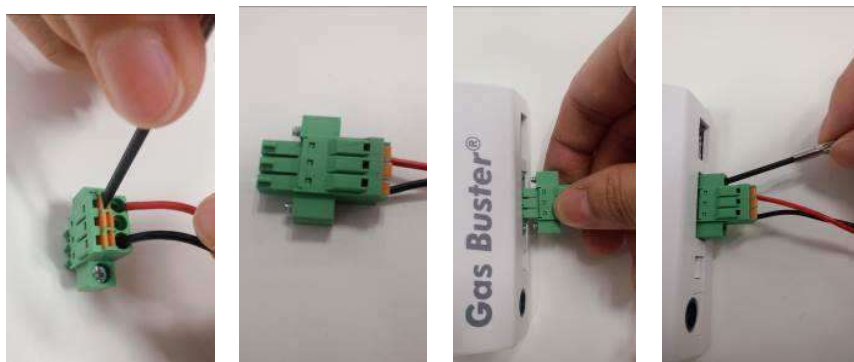
R端子:4-20mA信号受け(Return)端子
です。

* 適合配線:AWG28~20(出来る限り太い配線を推奨します)。

* 本コネクタは、単線・より線とも使用可能ですが、作業性・接触抵抗の有利さからより線の使用をお奨めします。

② 標準付属されている4-20mAコネクタに-ドライバーでコネクタの爪部分を押しながら、電線を挿入してください。

③ 電線が接続された4-20mAコネクタを本体に差し、+ドライバーで締め込みます。



④ 本製品と外部接続機器を接続した後、外部接続機器が正しく動作する事を確認してください。



注意

- ・アナログ出力端子に接続する機器は、負荷抵抗 300 Ω 以下の機器をご使用下さい。
- ・アナログ出力は本製品の濃度表示値とずれる場合があります。正確なアナログ出力値が必要な場合は、接続する機器を調整してご使用ください。
- ・アナログ出力の出力範囲は4~20mAです。この範囲外の出力の時は、測定環境あるいは機器に異常の可能性がありますが、詳細は「12.トラブルシューティング」をご覧ください。